

新型コロナ後遺症（罹患後症状）の 実態調査結果と相談・診療体制について

調査の概要

1 目的

新型コロナ後遺症(罹患後症状)の実態を把握し、相談・診療体制の整備及び県民への啓発に資する。

2 対象者

2,025人

〔県内各波の新型コロナウイルス感染者から15%程度ずつ、年代・性別・症状の程度に偏りなく抽出〕

患者発生時期	抽出数	備考
R2.3月～4月	22人	1年以上経過
R2.7月～8月	41人	
R2.9月～10月	27人	
R2.11月～R3.1月	536人	
R3.2月～6月	602人	アルファ株主流 ワクチン接種
R3.7月～10月	797人	デルタ株主流 ワクチン接種
計	2,025人	

3 調査方法

インターネットのアンケートフォームにより回答(一部、郵送により回答)

4 調査期間

令和3年12月10日～12月24日

5 回答率

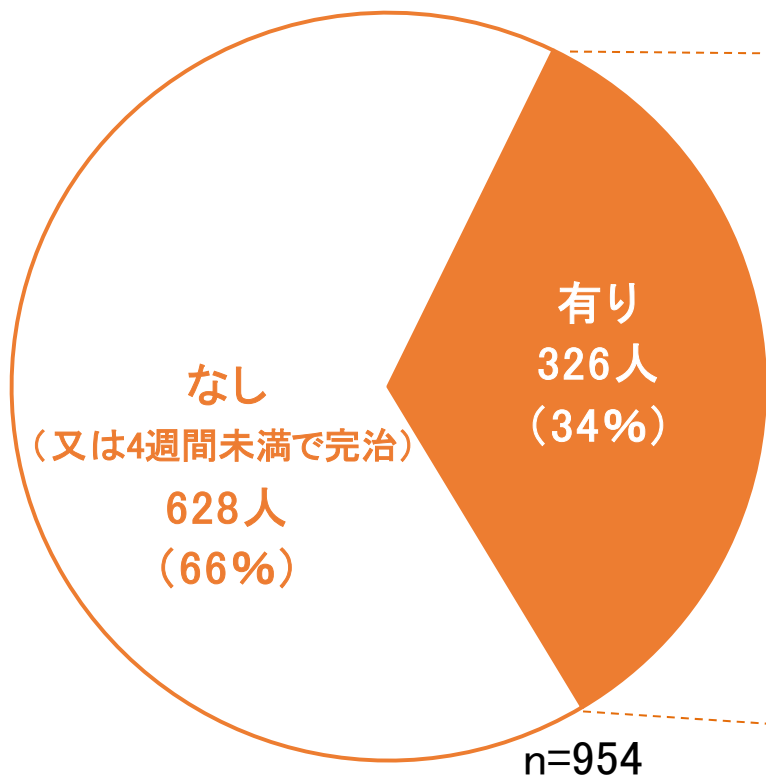
47.1% (954人/2,025人)

年代	回答数	母数	回答率	内訳 男性 女性	構成率 (954人)
全体	954人	2,025人	47.1%	50.1% 49.9%	
10歳未満	56人	117人	47.9%	46.4% 53.6%	5.9%
10代	77人	217人	35.5%	44.2% 55.8%	8.1%
20代	79人	335人	23.6%	44.3% 55.7%	8.3%
30代	61人	163人	37.4%	45.9% 54.1%	6.4%
40代	97人	220人	44.1%	54.6% 45.4%	10.2%
50代	113人	202人	55.9%	61.1% 38.9%	11.8%
60代	191人	285人	67.0%	49.7% 50.3%	20.0%
70代	217人	334人	65.0%	48.8% 51.2%	22.7%
80歳以上	63人	152人	41.4%	50.8% 49.2%	6.6%

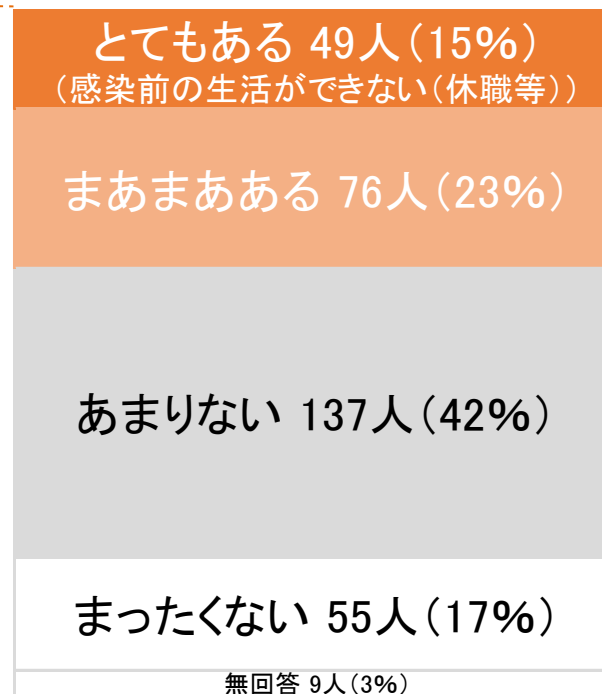
本調査は、医師の診断によらない対象者の自覚症状に基づくものであることや、後遺症を有する人が積極的に回答する場合があるなど、結果に偏りが生じている可能性があります。

後遺症の有無と社会生活への影響

【後遺症の有無】



【社会生活への影響】

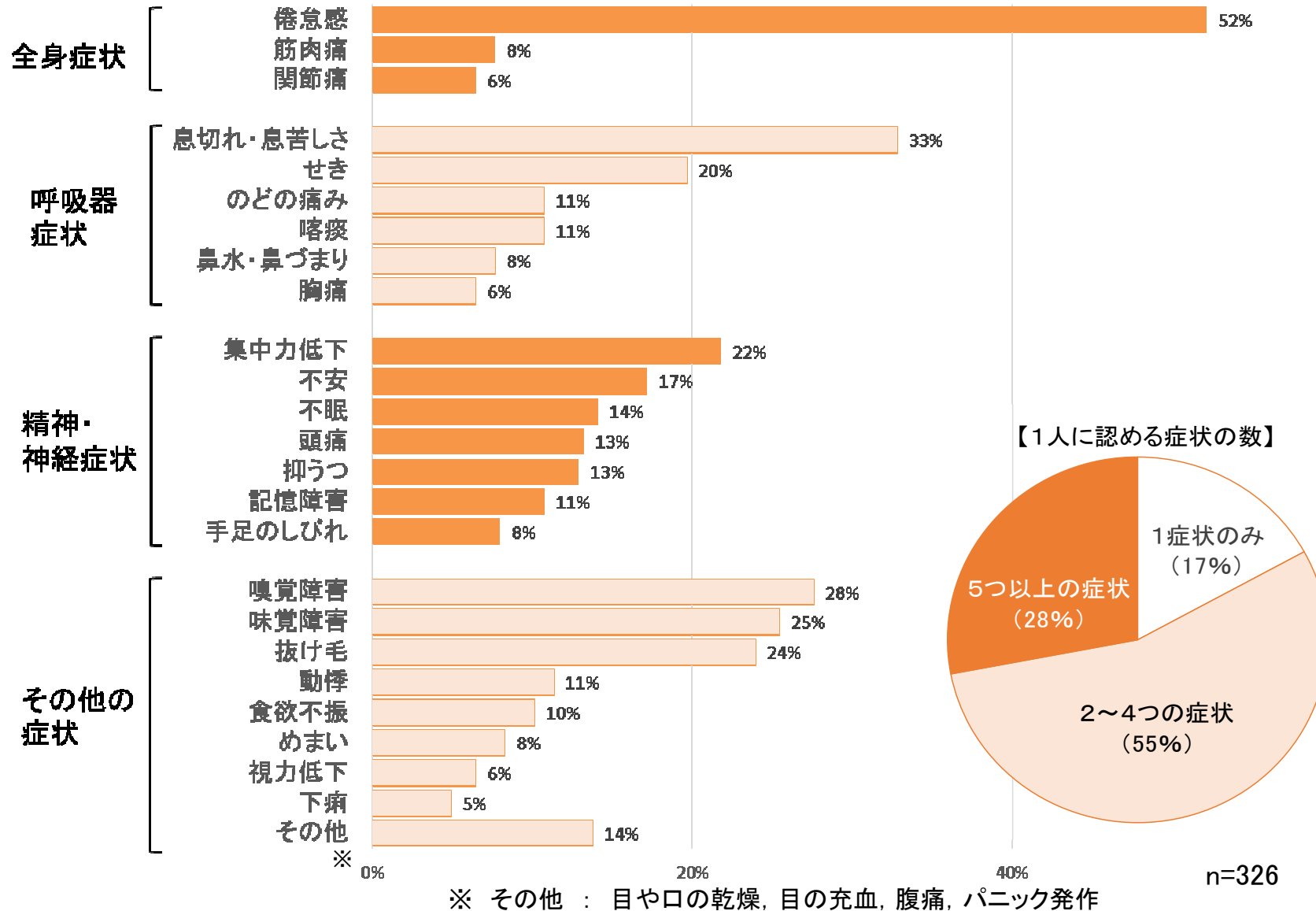


※ 本調査における新型コロナ後遺症の定義

- ・ 感染時の症状が、療養解除後も4週間以上続いたケース
- ・ 療養解除後4週間以内に発現した症状が、4週間以上続いたケース

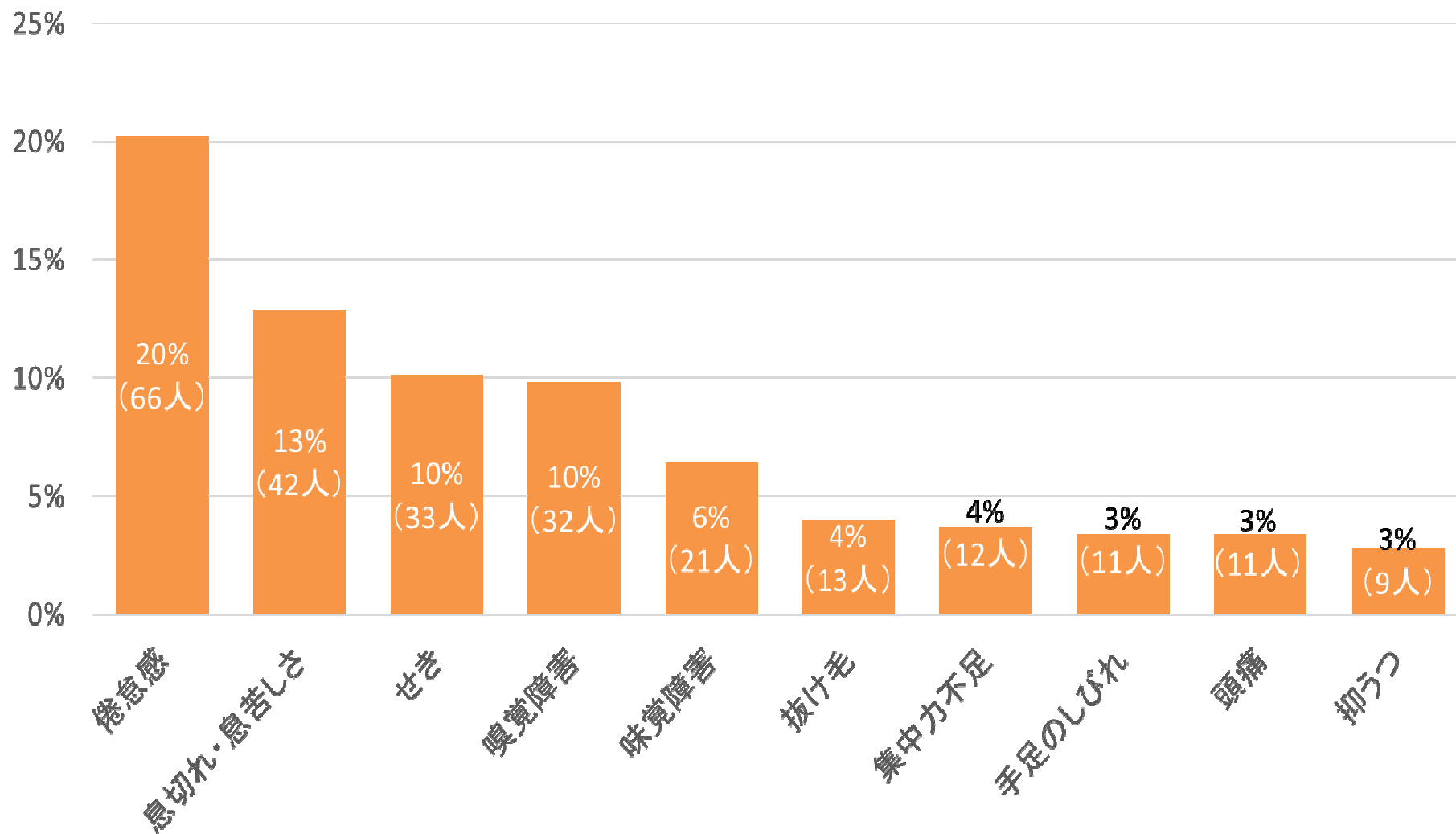
後遺症の症状

(複数回答)



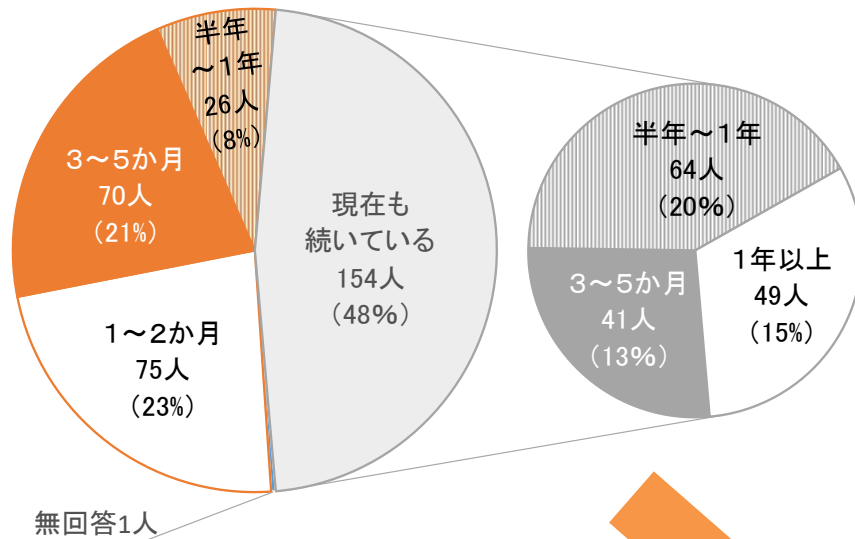
アンケートでは、これまで報告された頻度の高い症状28項目について調査した。

最もつらいと感じる症状

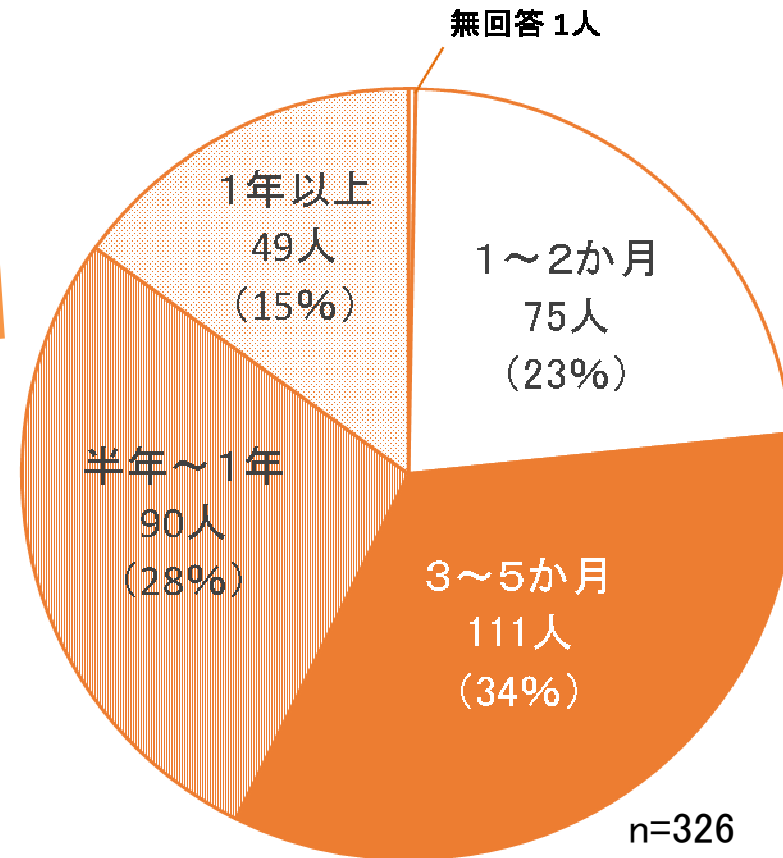


(上位10位まで)

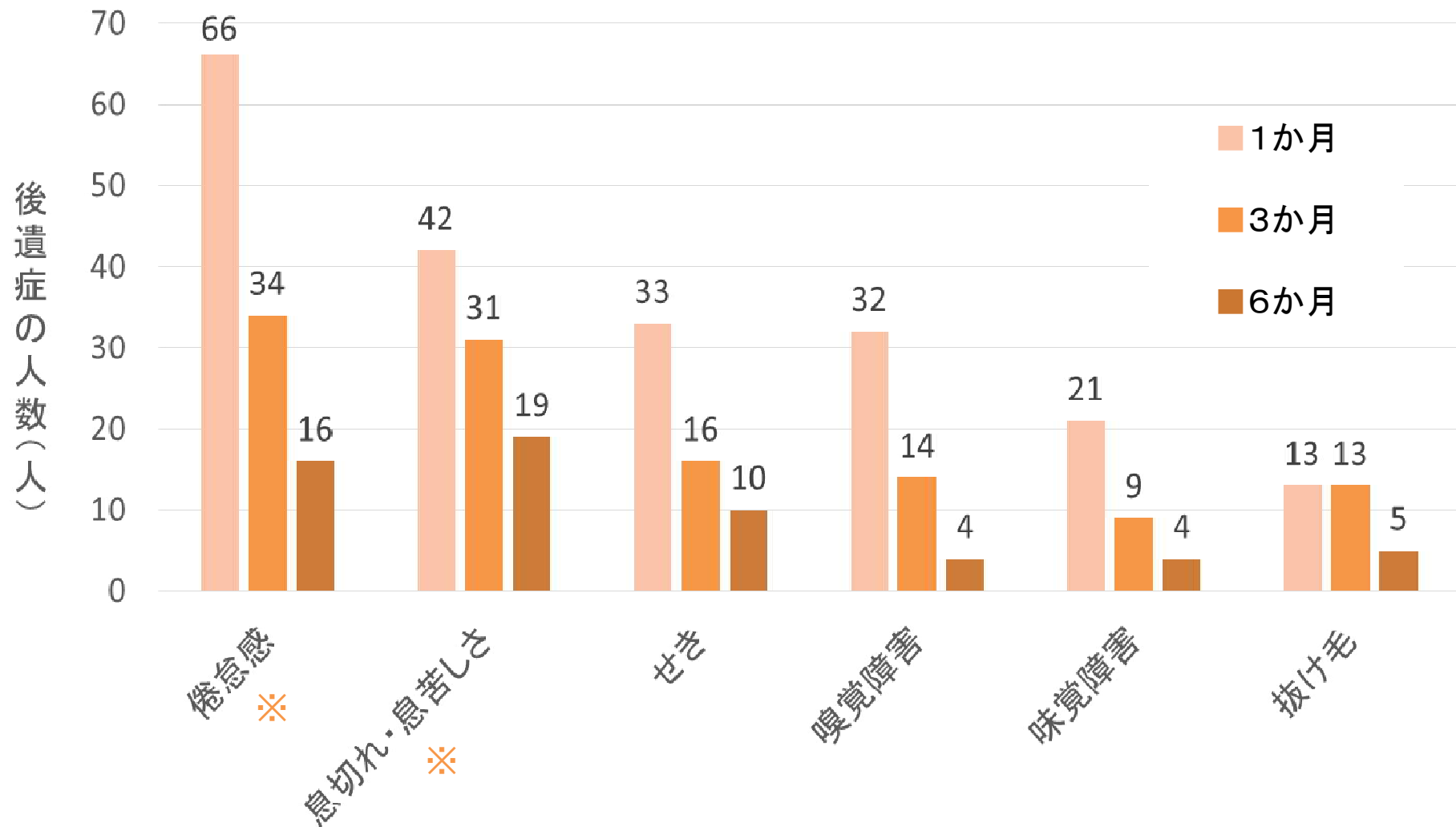
後遺症の持続期間



「現在も続いている」人の調査
時点での経過期間を後遺症持続
期間として集計

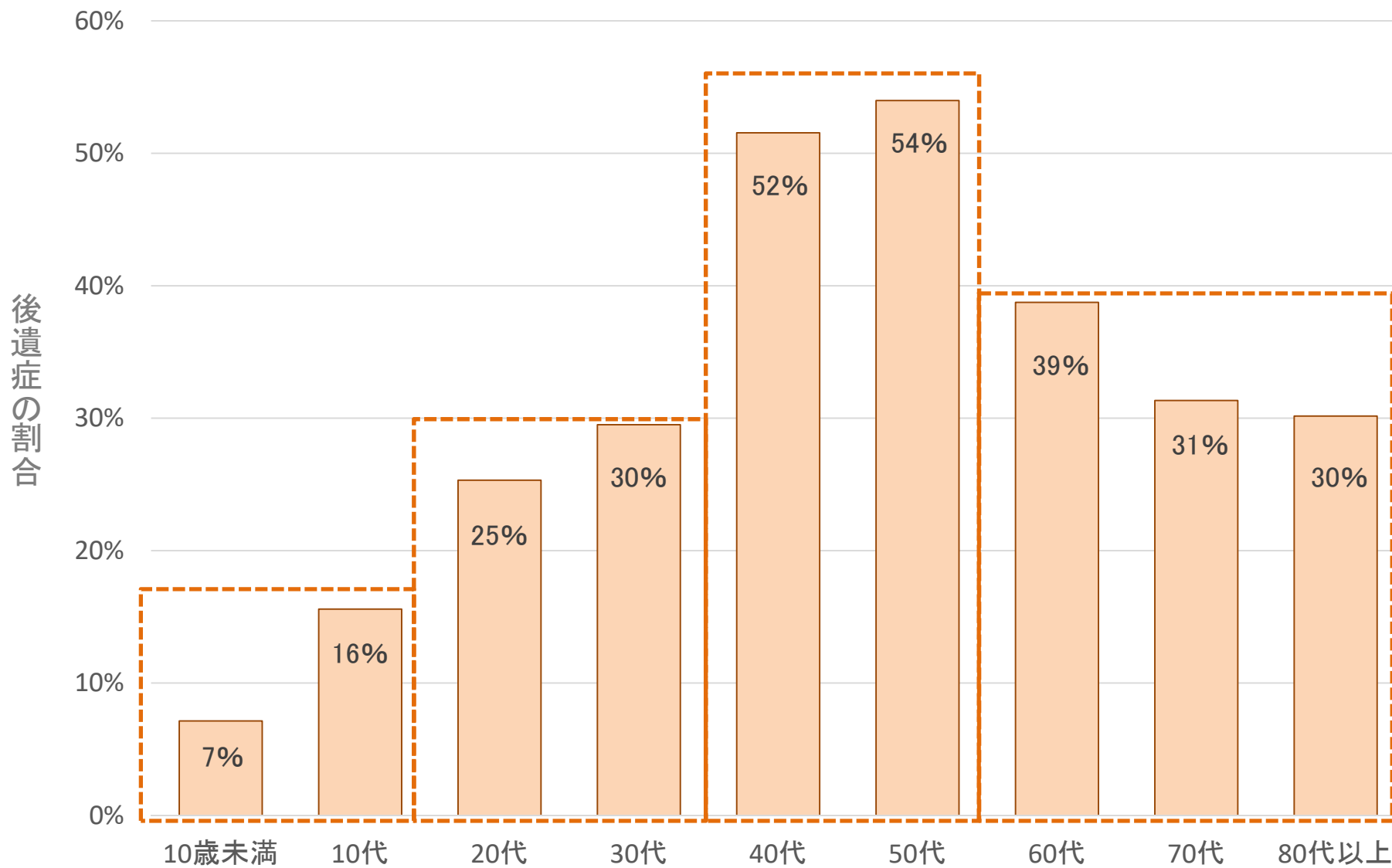


「最もつらいと感じる症状」の推移



※ かかりつけ医等によるリハビリテーション指導が効果的とされている
(厚生労働省「罹患後症状のマネジメント」)

年代別の後遺症の割合



各年代において、性別による後遺症化率の違いはなかった。

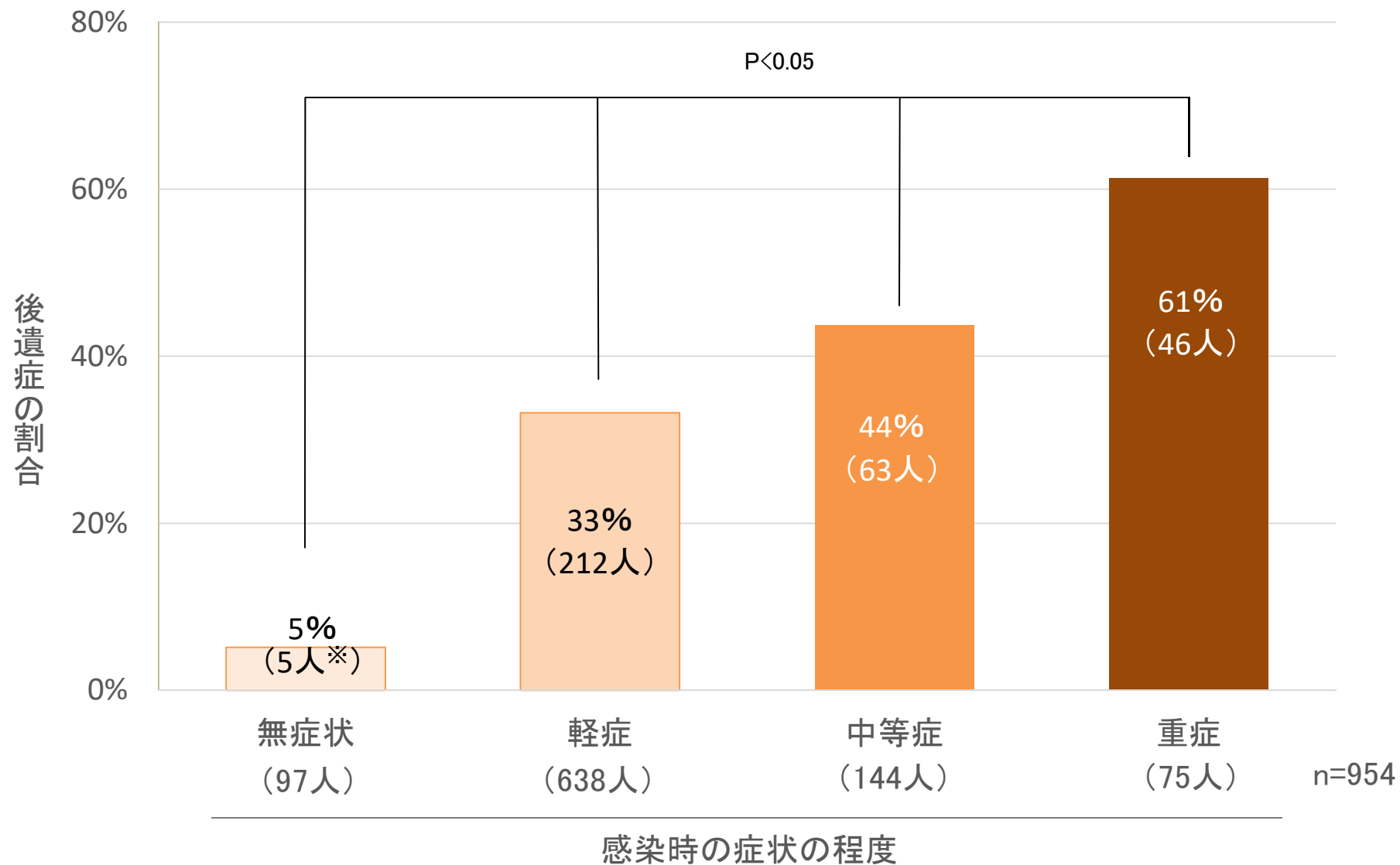
年代別の後遺症の特徴

	最もつらいと感じる症状 (割合(上位3位))	持続期間内訳				
10代以下 (16人)	せき (25%)	75%		25%		
	倦怠感 (25%)	100%				
	味覚障害 (13%)	50%		50%		
20代・30代 (38人)	嗅覚障害 (29%)	45%		18%	36%	
	味覚障害 (11%)	50%		25%	25%	
	息切れ・息苦しさ (11%)	50%		25%	25%	
40・50代 (111人)	倦怠感 (22%)	21%	58%		8% 13%	
	息切れ・息苦しさ (14%)	13%	20%	53%		13%
	嗅覚障害 (11%)	25%		42%		25% 8%
60代以上 (161人)	倦怠感 (22%)	17%	39%		31% 14%	
	息切れ・息苦しさ (14%)	4%	39%		26% 30%	
	せき (9%)	21%		29%		36% 14%

n=326

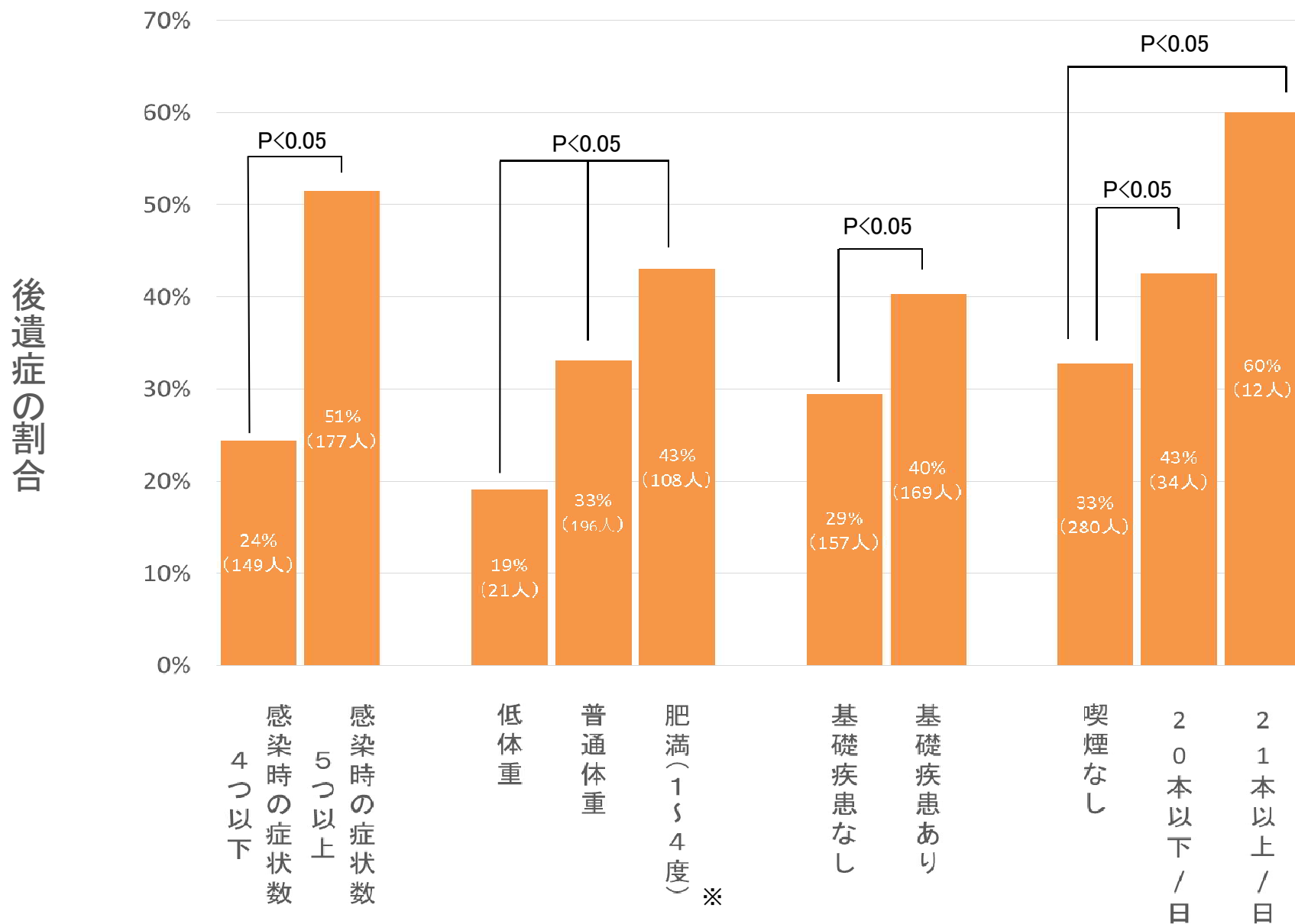
■ 1~2か月 ■ 3~5か月 ■ 半年~1年 ■ 1年以上

後遺症を有する人の傾向（感染時の重症度）



※ 感染時に無症状でも、療養解除後に発現した症状：倦怠感、せき、食欲不振、集中力低下、抑うつ等

後遺症を有する人の傾向（その他）



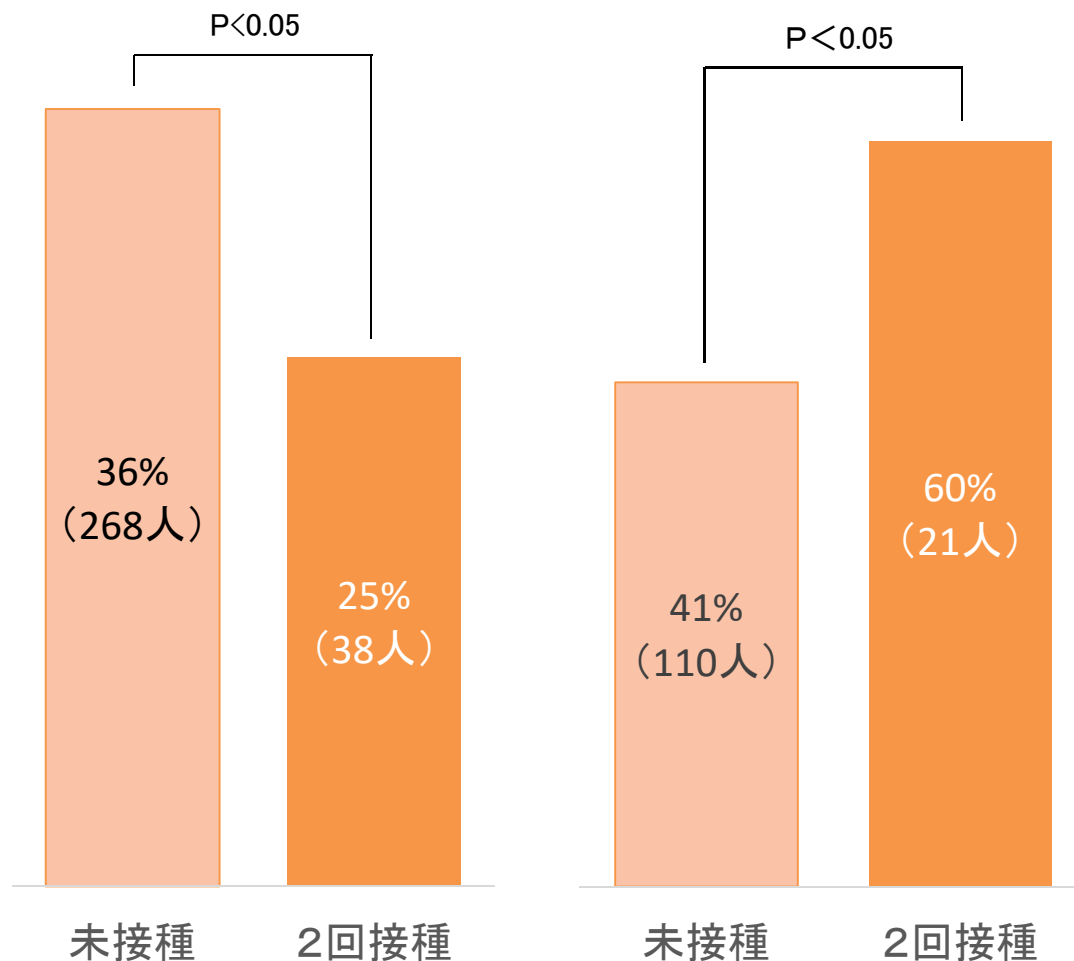
※ 肥満(1~4度) : BMI 25 以上

ワクチンの効果

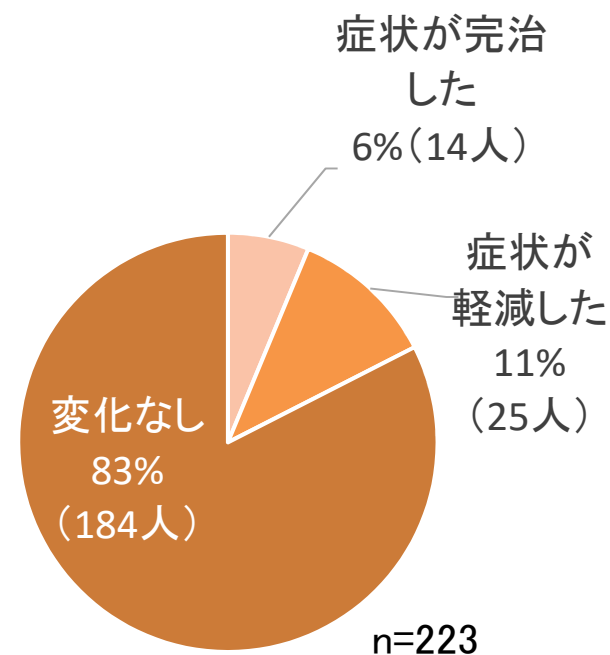
感染前のワクチン接種の効果

(後遺症の割合)

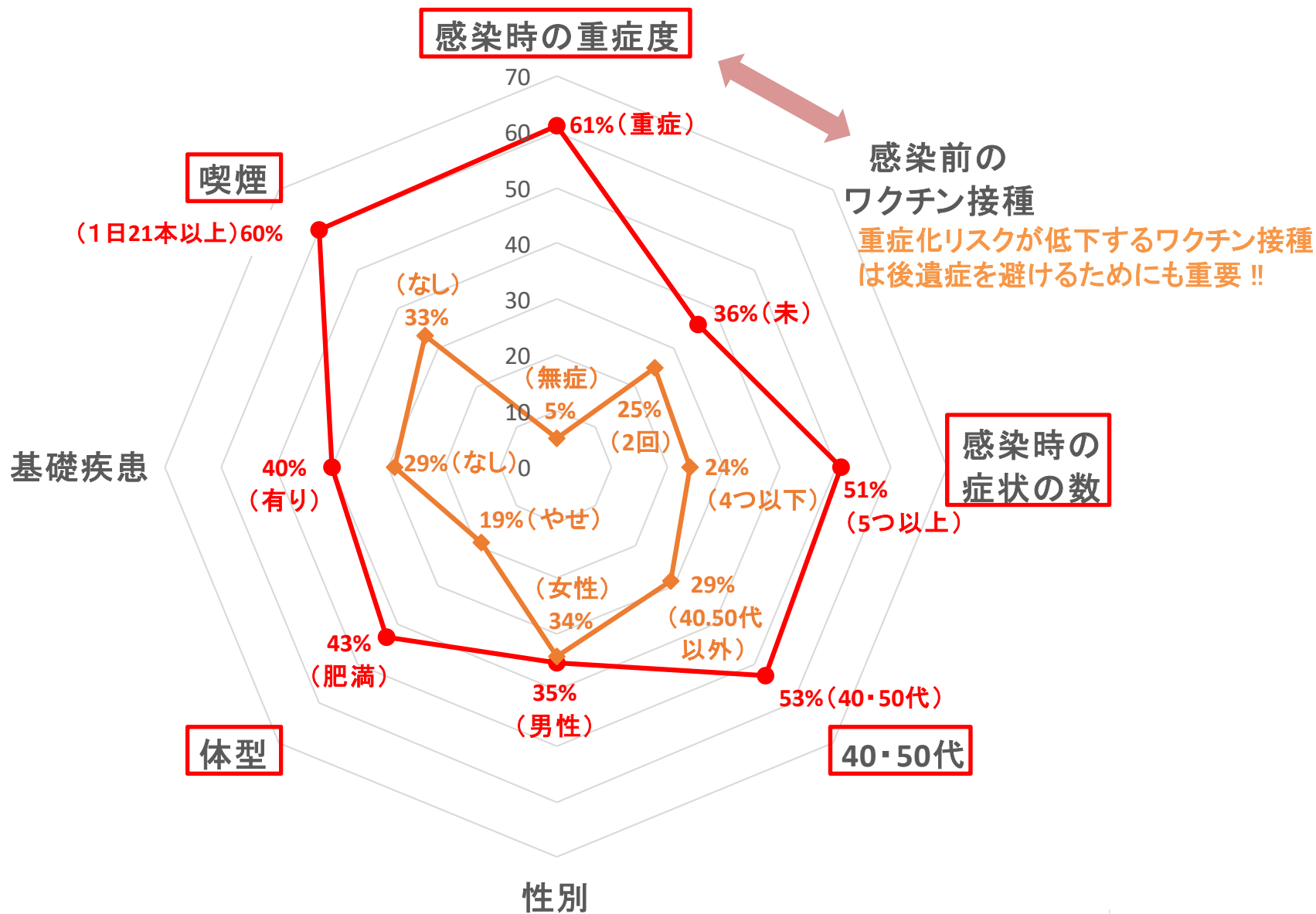
〔半年以内に後遺症が改善した割合〕



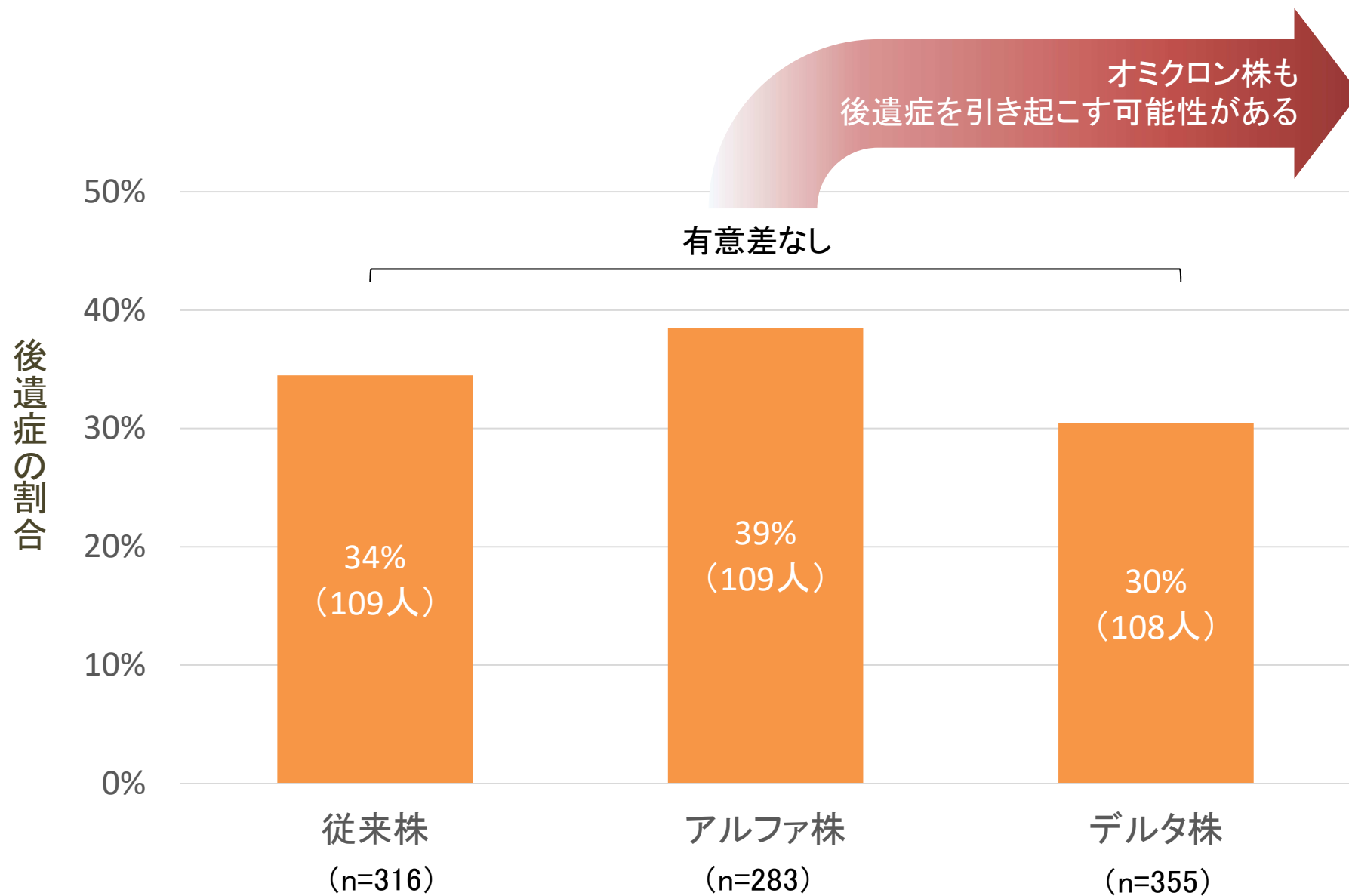
退院・療養解除後(感染後)のワクチン接種の効果



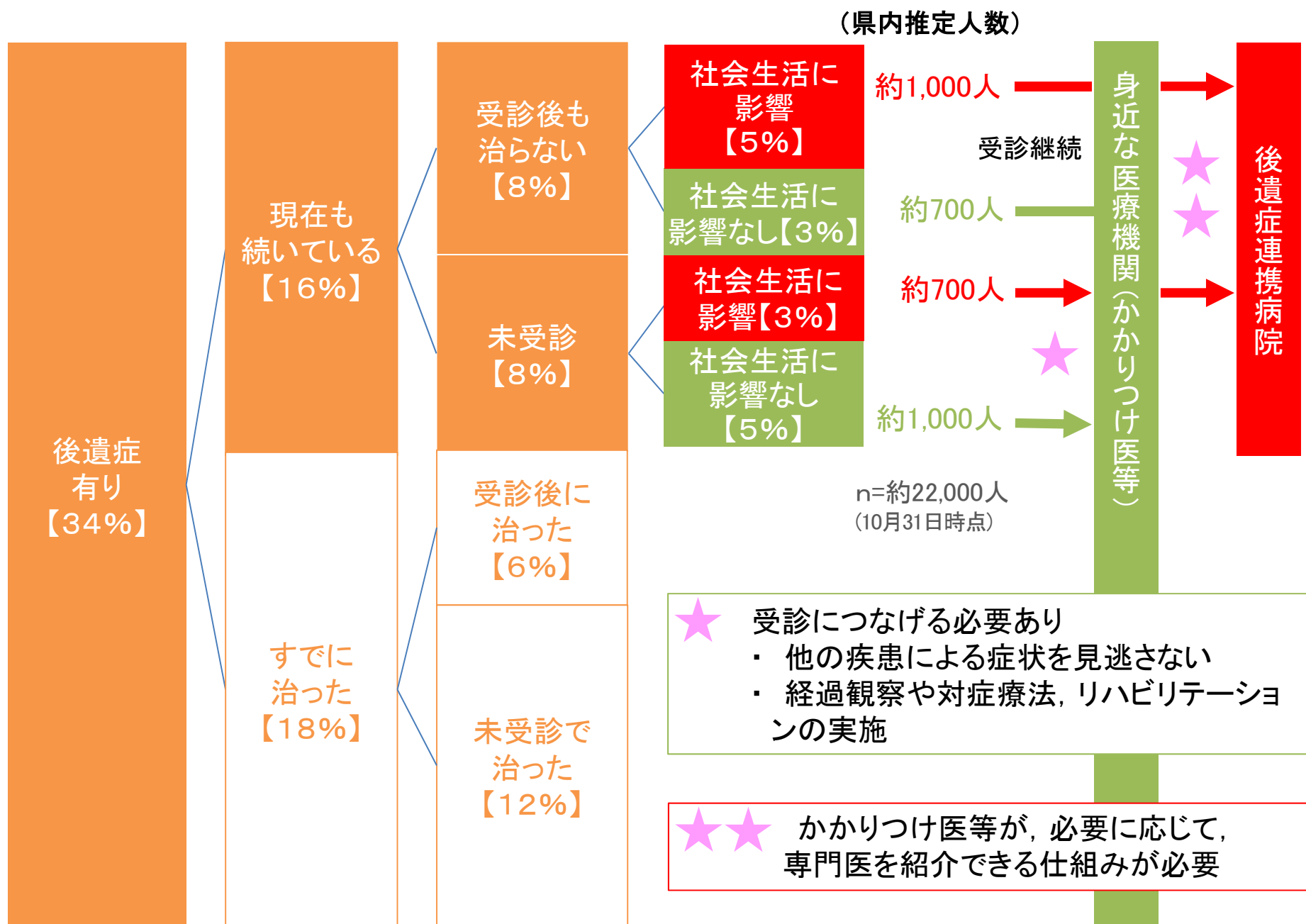
後遺症を有する人の傾向（まとめ）



感染株の違いによる影響



県内推定人数 (オミクロン株拡大前まで)



新型コロナ後遺症の相談・診療体制

- 新型コロナ後遺症が疑われる症状に悩む場合は、受診の目安や県実態調査結果を参考に、医療機関を受診すべきか、確認する。

【受診の目安】

日常生活に支障が生じ始める程度の症状があり、4週間以上長引く場合 ⇒ 身近な医療機関(かかりつけ医等)

- 身近な医療機関(かかりつけ医等)で、後遺症としての診療が必要と判断された場合、「後遺症連携病院」が紹介され、より詳しい診療を受けることができる。

